

多文化共生・統合人間学プログラム修士課程入学試験案内

この案内書は、東京大学大学院総合文化研究科多文化共生・統合人間学プログラム修士課程学生募集要項を補足するものである。

1. 志望専攻について

多文化共生・統合人間学プログラムの学生は、4専攻（言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻）のいずれかに所属することになる。専攻別には募集人員を定めず、プログラム全体として学生を募集する。ただし、志願者は、各自の研究テーマに基づき、志望専攻(分野)を第3志望まで決めて出願しなければならない。これは、各自の研究テーマに相応しい教員から指導を受けることができるようにするためである。最終的な所属専攻は、入学許可の通知に記載する。

2. 出願書類等作成について

- (1) 入学願書は、修士課程・博士後期課程について、共通の様式となっている。出願しようとする課程を○で囲むこと。
- (2) 入学願書中、「志望専攻(分野)」欄は、上記「1. 志望専攻について」により必ず第3志望まで記入すること。超域文化科学専攻及び国際社会科学専攻を志望する者は、分野も記入すること(両専攻の分野は以下のとおり)。

超域文化科学専攻(表象文化論分野・文化人類学分野・比較文学比較文化分野)
国際社会科学専攻(国際関係論分野・相関社会科学分野)

なお、第3志望までの3つの欄に、同一専攻中の分野を複数記入することはできない。例えば、超域文化科学専攻の表象文化論分野と文化人類学分野を希望したとしても、両方を記入してはならない。より強く志望する分野を一つだけ記入すること。同一専攻中の分野を複数記入した場合は、出願書類等を受理することができないので注意すること。